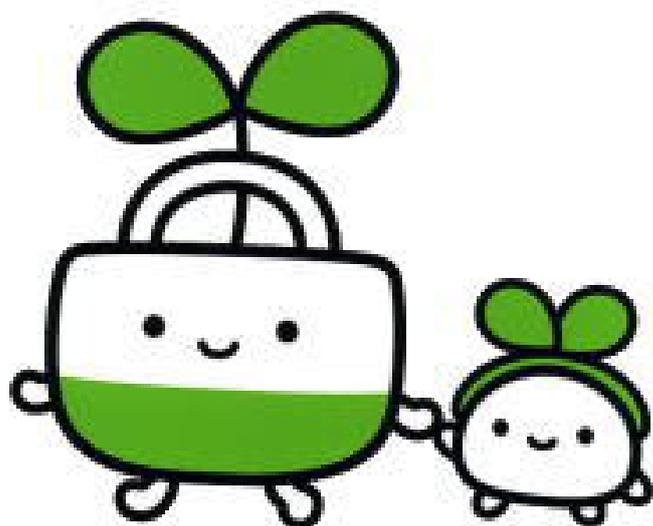


平成20年度 東海三県一市グリーン購入キャンペーン

実施報告書



ばっくん

がまこ

グリーン購入ネットワーク(GPN) キャラクター

1. 実施概要

《目的》

グリーン購入の普及と定着を図るため、東海三県一市の広域連携で、行政・団体・事業者が協働して消費者に対する啓発キャンペーンを実施し、身近な消費行動を通して持続的発展が可能な社会経済システムの構築を目指す。

《実施時期》

平成21年1月15日(木)～2月14日(土)

《キャッチフレーズ》

グリーン購入～あなたにも！地球にも！やさしいお買い物～

《実施内容》

①協力店舗内における啓発物品の掲示やコーナーの設置

ポスターやPOPの啓発物品を協力店舗内に掲示したり、「詰め替え商品」・「環境ラベル商品」、「地産地消・季産季消」等のグリーン購入対象商品を集めたコーナーを設置するなどして、消費者へグリーン購入の普及・啓発を図った。

②懸賞応募企画

環境ラベル商品を購入した方を対象に、「エコ文具&洗剤詰め合わせ」などが当たる懸賞応募を実施し、「グリーン購入」の普及・啓発と当キャンペーンの効果測定を行った。

③協力店舗における独自企画の実施

協力店舗において、独自企画を実施していただき、「グリーン購入」の普及・啓発を行った。

④EXPOエコマネーとの連携

「懸賞応募はがき」を直接エコマネーセンターや、一部の参加店舗で開設するEXPOエコマネーセンター出張ブースへ持参した人へEXPOエコマネーを発行した。

また、一部の参加店舗では「地産食品」等を購入した人へEXPOエコマネーを発行した。

⑤東海三県一市グリーン購入説明会の開催

キャンペーンに参加する店舗や詰め替え商品メーカー、エコマーク文具メーカーの担当者等に対し、グリーン購入の必要性や環境ラベルについての説明会を開催した。

《主催等》

主催：東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会

（愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、日本チェーンストア協会中部支部、
グリーン購入ネットワーク(GPN)で構成

後援：環境省中部地方環境事務所

経済産業省中部経済産業局

農林水産省東海農政局

協賛：○環境ラベル団体

(財)日本環境協会エコマーク事務局

3R活動推進フォーラム、

(社)日本有機資源協会

○詰め替え商品メーカー

花王カスタマーマーケティング(株)、クラシエホームプロダクツ販売(株)、サラヤ(株)、資生堂販売(株)、ライオン(株)

○エコマーク文具メーカー

シヤチハタ(株)、ゼブラ(株)名古屋支店、(株)トンボ鉛筆中部店、プラス(株)ジョイントテックスカンパニー、プラチナ万年筆(株)、(株)美濃商会

○事業者

(株)INAX、鹿島建設(株)中部支店、東邦ガス(株)、(株)トクレー、積水ハウス(株)、リンナイ(株)

協力:○卸売業者

(株)あらた中部支社、中央物産(株)

○EXPOエコマネー実施団体

NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム

○販売店

東海三県内3, 630店舗(三県外82店舗)

業態	社名	参加店舗					
		岐阜	愛知	三重	名古屋	合計	三県外
チェーンストア	イオンリテール株式会社中部カンパニー	7	20	17	8	44	
	株式会社イトーヨーカ堂	2	7		1	9	
	株式会社オークワ	1	1	32		34	
	株式会社西友	6	16		4	22	
	株式会社ダイエー		6		6	6	
	株式会社バロー	57	34	4	15	95	
	マックスバリュ中部株式会社	3	25	47	23	75	4
	株式会社ピーコックスストア(旧松坂屋ストア)		8	6		14	
	株式会社ヤマナカ	4	62	4	26	70	
	ユニー株式会社ユースストア営業本部	5	41	8	7	54	
	ユニー株式会社	16	55	8	14	79	8
	株式会社義津屋	3	17	1	2	21	
百貨店	株式会社ジェイアール東海高島屋		1		1	1	
	株式会社 中部近鉄百貨店			1		1	
	株式会社津松菱			1		1	
	株式会社豊橋丸栄		1			1	
	株式会社松坂屋		3		1	3	
	株式会社松坂屋名古屋駅前店		1		1	1	
	株式会社丸栄		1		1	1	
	株式会社三越		2		2	2	
	株式会社名鉄百貨店		2		1	2	

業態	社名	参加店舗					三県外
		岐阜	愛知	三重	名古屋	合計	
スーパー	株式会社アオキスーパー		43		13	43	
	えぷろんフーズ株式会社		3			3	
	株式会社ぎゅーとら			14		14	
	株式会社シジシーショップ東海		1			1	
	株式会社主婦の店 土岐店	6				6	
	株式会社主婦の店 中津川店	9				9	
	株式会社ぜにや			3		3	
	株式会社パレ	1	14		6	15	
	株式会社マイカル桑名サティ			1		1	
	株式会社マイカル春日井サティ		1			1	
	株式会社マイカル津サティ			1		1	
	株式会社マイカル豊川サティ		1			1	
	株式会社マルヤス			9		9	
生協	愛知県職員生活協同組合		7		4	7	
	岐阜大学消費生活協同組合	2				2	
	生活共同組合コープぎふ	5				5	
	生活協同組合コープみえ			2		2	
	名古屋勤労市民生活協同組合(めいきん生協)		15		9	15	
	みかわ市民生活協同組合		6			6	
コンビニ	株式会社ファミリーマート	99	441	120	150	660	
	株式会社サークル K サンクス	247	1,025	214	332	1,486	
ドラッグストア	株式会社スギ薬局	34	219	42	58	295	
	株式会社スギヤマ薬品	5	72	7	23	84	
	杉浦薬品株式会社	13	28		2	41	
	中部薬品株式会社	64	59	2	19	125	30
	株式会社ユタカファーマシー	28	13	1	6	42	
ホームセンター	株式会社カーマ	19	58	8	11	85	40
	株式会社コメリ	34	7	42		83	
	ホームセンターバロー(株)バロー	26	6	3	1	35	
	株式会社名鉄生活創研(ロフト)	1	1		1	2	
文具店	株式会社栗田商会		7		2	7	
	サン・味岡 西尾店		1			1	
	株式会社篠田商会		1			1	
	株式会社フクチ		3			3	
		697	2,335	598	750	3,630	82

2. 具体的取組内容

①協力店舗内における啓発物品の掲示やコーナーの設置



②懸賞応募企画

《実施期間》

平成21年1月15日(木)～2月14日(土)(当日消印有効)

下記の環境ラベル商品を購入した方に、抽選で「エコ“文具 & 洗剤”9点詰め合わせ」※を50名様、文具券500円分を700名様、合計750名様にプレゼントした。

(なお、エコ商品提供企業からのご厚意で一部商品について予定数より多く提供いただいたことから、750名様に加えて新たに抽選を行い、16名様にプレゼントした。)



■エコマーク



■再生紙使用マーク



■バイオマスマーク

《応募方法》

参加店舗内に備え付けの応募用紙に、①郵便番号・住所・電話番号 ②氏名 ③購入した環境ラベル・商品名 ④お買い上げ店名を明記し、アンケートにお答えのうえ、郵送にて応募する。なお、官製はがきで応募してもよい。その場合は、①～④を記入し、アンケートに答えのうえ、応募する。

【送付先】〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南 2-1-1 岐阜県環境生活部廃棄物対策課

「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」実行委員会事務局

*最寄りのEXPOエコマネーセンターに直接持参することもできる(エコマネーポイント加算対象)。

《アンケート内容》

- 性別／A. 男 B. 女
- 年齢／A. 20歳未満 B. 20歳以上 C. 30歳以上 D. 40歳以上 E. 50歳以上 F. 60歳以上 G. 70歳以上
- 質問1／「あなたは、普段の買い物でどのようなことを実践していますか。」(複数回答可)
 - A. ものを購入する前に、本当に必要かどうかよく考えてから買う
 - B. 詰替商品を選ぶ
 - C. 環境ラベルのついた商品を選ぶ
 - D. リサイクル商品を選ぶ
 - E. 省エネ商品を選ぶ
 - F. 地元、旬のものを選ぶ
 - G. くり返し使えるものを選ぶ
 - H. マイバッグを持参する
 - I. 特に実践していない
- 質問2／「質問1のAからHまでの取組など、環境への負荷が少ないものやサービスを選んで購入することを『グリーン購入』といいます。これまでに『グリーン購入』という言葉を知っていましたか。」
 - A. 知っていた
 - B. このキャンペーンで知った
- 質問3／「『グリーン購入』を実施しますか。」
 - A. これからも実施する
 - B. このキャンペーンを機会に実施する
 - C. 今後も実施しない
- 自由欄／「『東海三県一市グリーン購入キャンペーン』へのご意見や、グリーン購入をもっと広めるためのアイデア等があればご記入ください。」

《当選発表》

厳選な抽選のうえ、当選者を決定する。当選者への賞品の発送をもって発表にかえることとする。

《懸賞応募企画の抽選結果》

○抽選日

平成21年3月4日(水)

○応募者数

3761名

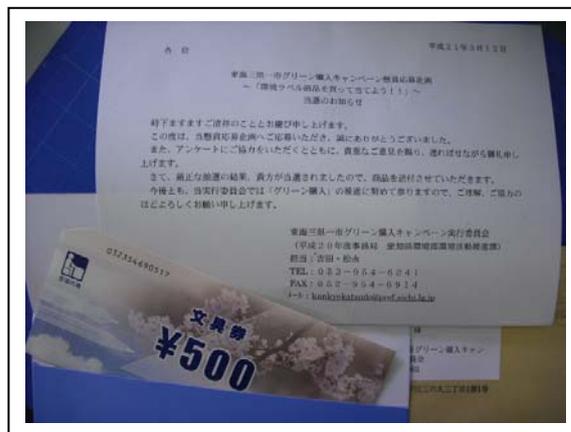
○当選者数

750名(*別途エコ洗剤16名)

《アンケート結果》

本報告書18～23ページに記載

《賞品》



※「エコ“文具&洗剤”9点詰め合わせ」

○エコ商品提供企業

花王カスタマーマーケティング株式会社

クラシエホームプロダクツ販売株式会社 名古屋支店

サラヤ株式会社

シヤチハタ株式会社

ゼブラ株式会社名古屋支店

株式会社トンボ鉛筆中部店

プラチナ万年筆株式会社

株式会社美濃商会

ライオン株式会社

③協力店舗における独自企画の実施

○ユニー、ユーストア

バイオマスマーク容器商品購入者を対象とした懸賞応募を実施した。

- ・ユニー商品券2000円分 150名
- ・マイ箸・箸袋&リサイクル箸置き 500名

東海三県一市
グリーン購入キャンペーン
City Aichi-Mie-Nagoya

バイオマス容器商品を買って ユニー商品券を 当てよう!!

応募期間 2009年
1月15日(木)~2月14日(土)
※応募ハガキがなくなり次第終了とさせていただきます。

対象商品 ※対象により一部対象外の商品があります。
バイオマスマークシールの付いている商品
このマークが目印です

A賞
ユニー商品券
2,000円分 **150名様**

B賞
バイオマスプラスチックから生まれた箸置き
お箸につけると形を歪めることができます!
ヤフードームで使ったパットをリサイクル
マイ箸・箸袋&
リサイクル箸置き **500名様**

※当選総数は、アピタ・ユニー・ラズ・ココ・ユーストアの合計となります。

トウモロコシから生まれた地球にやさしい
「バイオマスプラスチック」

- 1 植物生まれの原料を使うことで、限りある化石燃料を節約できます。
- 2 地球上の二酸化炭素を増やしません。(カーボンニュートラル)
- 3 生ゴミなどの堆肥に入れると、微生物によって水と二酸化炭素に分解されます。
- 4 回収した容器は、再生資源として新しい容器の原料に生まれ変わります。

自然に
かえります

バイオマスプラスチック

リサイクル
できます

詳しくは、専用応募ハガキまたは専用ホームページをご覧ください。
専用ホームページ <http://www.uny.co.jp/shopping/special/biomass/>
この紙は再生紙を使用しています。♻️100 商品番号: 1/15~2/14



○ユニー

《イベント》

店舗名・実施日	実施内容
・刈谷店(1月17日)	○レジ袋有料化PRイベント……※詳細は下記を参照 ○アピタ子ども環境学習……※詳細は下記を参照 ○環境パネル展示 ○アピタ環境かみしばい ○EXPOエコマネーセンター出張ブース ○モリゾー・キッコロとの写真撮影会
・千代田橋店(1月24日) ・鳴海店(1月25日)	○「地産食品」につけられた専用シール等とEXPOエコマネーとの交換 ○アピタ子ども環境学習 ○環境パネル展示 ○アピタ環境かみしばい(千代田橋店は除く) ○EXPOエコマネーセンター出張ブース ○モリゾー・キッコロとの写真撮影会
・大垣店(1月31日)	○アピタ子ども環境学習 ○環境パネル展示 ○EXPOエコマネーセンター出張ブース ○モリゾー・キッコロとの写真撮影会
・飛騨高山店(1月24日) ・桑名店(2月7日) ・東海荒尾店(2月11日)	○アピタ子ども環境学習 ○環境パネル展示

《レジ袋有料化PRイベント》

レジ袋の有料化開始を前に、環境に関するアンケートの回答者にオリジナルマイバックとEXPOエコマネーを進呈し、買い物袋持参運動に対する理解と協力を求めた。

《アピタ子ども環境学習》

お店探検隊

○参加者 小学生

○内 容 店舗内や店舗裏を案内してもらい、環境への取り組みについて学習する。



○イオン

名古屋市内在住の子ども達が、環境教育プログラム「買い物ゲーム」を受講した。

《実施日時》

平成21年2月8日（日） 14時30分～16時

《実施場所》

イオン千種ショッピングセンター（1階セントラルコート）

《参加者数》

市内在住の小学生16名

《内容》

- 買い物を通じてグリーン購入について理解できる「買い物ゲーム」の実施
- 出張エコマネーセンターの設置（買い物ゲーム参加者、キャンペーン対象商品購入者へのエコマネーポイントの付与）
- モリゾー・キッコロとの記念撮影会



○バロー

環境パネルの展示と、グリーン購入体験イベント「買物探検隊」として、来店した親子が店舗内の環境配慮商品を探すクイズラリーを行い、グリーン購入の疑似体験を行った。

探検隊の応援としてモリゾー・キッコロも参加した。

《実施日時》

平成21年1月17日（土） 13時～16時

《実施場所》

バロー多治見店

《参加者数》

「買物探検隊」参加親子50組 139名



○名古屋勤労市民生活協同組合

《COOP エコキャンペーン》

期間中、家庭でのエコの様子を、川柳やエピソードにまとめ応募した方に賞品を提供した。

- ・生協商品券 5名
- ・リサイクルトイレットペーパー 200名

COOPエコキャンペーン2009
地球温暖化は、今もますます確実に進行しています。家庭でのCO₂排出量は、90年度に比べ、132%も増えています。一人ひとりの行動が今求められています。そこで、今年も、COOPエコキャンペーンを実施します。家庭でのエコの様子を、川柳やエピソードでお寄せいただき、みんなで交流しましょう。

わが家のエコ エコ川柳 エコエピソード 大募集!

応募要項

- ◆応募内容◆
くらしの中のエコのことを大募集します。応募は、次の3種類のどれでも結構です。一人何点でも応募できます。
- わが家のエコ
家庭で実行している、エコな工夫や努力を教えてください。自由な様式で、100文字程度以内にまとめてください。
- エコ川柳
5・7・5のリズムで、環境に関する川柳を募集します。他の企画・キャンペーンに応募したものは、ご遠慮ください。
- エコエピソード
家庭での環境に関するエピソードを募集します。何でもOK。おもしろい話、感心する話を教えてください。

賞品

- ★★★優秀賞
生協商品券3000円分 5名様
- ★COOP賞
グリーンライフ(12ルーム) 抽選で200名様

応募期間 2009年2月2日(月)～28日(土)

応募方法 下記の応募用紙でご応募ください。応募用紙は、共同購入・惣配の配達時、店舗のサービスカウンターへ またホームページ「あいじん生活」でも受け付けています。URLは <http://mekin.coop/eco/2009shuy>

お問い合わせは 経営企画室 TEL052-703-1769

COOPエコキャンペーン2009応募用紙

お名前

組合員番号

または電話番号

●応募項目 ○をつけてください→ わが家のエコ エコ川柳 エコエピソード

掲載しないようご記入ください。賞品などをお届けできない場合があります。ご記入いただいた個人情報は、環境キャンペーン及び関連推進活動にのみ使用します。

《イベント》

- ・実施日 平成 21 年 1 月 21 日(水)
- ・実施場所 コープ大高インター店
- ・内容
 - 「地産食品」につけられた専用シール等と EXPO エコマネーとの交換
 - エコマネーセンター出張ブース開設
 - グリーン購入クイズラリー
 - モリゾー、キッコロとの記念撮影



④EXPO エコマネーとの連携

《グリーンプロジェクト》

キャンペーン期間中、下記の店舗で「地産食品」(県内産青果等)等につけられた専用シールや環境ラベルを専用台紙に貼り付けエコマネーセンターに持ち込んだ方へエコマネーポイントを発行した。

店舗名
名古屋勤労市民生活協同組合大高インター店
アピタ千代田橋店
アピタ鳴海店
中部近鉄百貨店四日市店



《イベント》

EXPO エコマネーセンター出張ブースの出展や、環境クイズ、モリゾー・キッコロとの写真撮影会を、下記の店舗で実施した。

店舗名	実施日
アピタ刈谷店	平成21年1月17日(土)
名古屋勤労市民生活協同組合大高インター店	平成21年1月21日(水)
アピタ千代田橋店	平成21年1月24日(土)
アピタ鳴海店	平成21年1月25日(日)
アピタ大垣店	平成21年1月31日(土)

- ・環境クイズへの回答者にエコマネーポイントを発行。
- ・公共交通機関で来店するとエコマネーポイントを発行。
- ・モリゾー・キッコロ写真撮影会の実施。



⑤東海三県一市グリーン購入説明会の開催

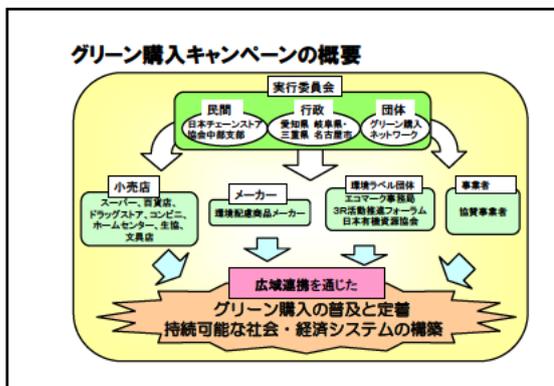
グリーン購入の必要性や環境ラベル(エコマーク、再生紙使用マーク、バイオマスマーク)について説明を行うとともに、環境ラベルごとの紹介用ブースを設け、商品等を示しながらそれぞれの環境ラベルの紹介を行った。

開催日時	1回目	2回目
		平成21年1月14日(水) 午後2時から4時まで
開催場所	愛知県三の丸庁舎 大会議室 (名古屋市中区三の丸 2-6-1)	愛知県西三河総合庁舎 大会議室 (岡崎市明大寺本町 1-4)
説明事項及び講師	<p>○ グリーン購入キャンペーンについて (東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会事務局)</p> <p>○ グリーン購入の推進について (グリーン購入ネットワーク事務局)</p> <p>○ 環境ラベルについて</p> <p>(1)エコマーク 講師:財団法人日本環境協会エコマーク事務局 普及・国際協力課長 大島美保</p> <p>(2)再生紙使用マーク 講師:3R活動推進フォーラム事務局 上席研究員 岩瀬範泰</p> <p>(3)バイオマスマーク 講師:社団法人日本有機資源協会事務局 主幹 加藤俊明</p>	
参加対象	グリーン購入キャンペーンに参加する店舗や詰め替え商品メーカー、環境ラベル商品取り扱い製造文具メーカーの担当者、行政機関等	
参加者数	92名	65名





○説明用資料(一部)



エコマーク事業の目的

- 消費者に対して...
環境に配慮した商品を選ぶための目印
⇒ 環境にやさしい消費行動を起こすきっかけ
- 事業者に対して...
⇒ 環境にやさしい商品の開発指針

↓

持続可能な社会に消費者、事業者を誘導する
第三者機関が評価する環境ラベル

5 Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

「R(再生紙使用)マーク」とは

- 古紙パルプがどのくらい再生利用(リサイクル)されているのかが一目で判るようにした環境ラベル
- 平成7年6月 ごみ減量化推進国民会議(3R活動推進フォーラムの前身)の全国大会において、再生紙の利用促進・普及啓発を目的に制定

2009.01.14-19 東海三県一市グリーン購入研究会 3R活動推進フォーラム 事務局編 P. 3/15



平成20年度東海三県一市グリーン購入キャンペーン アンケート集計結果

1. 目的

消費者の「グリーン購入」をさらに普及するための意見・アイデアを調査し、協賛企業・団体・参加店舗へフィードバックするとともに、当キャンペーンの効果測定を行う。

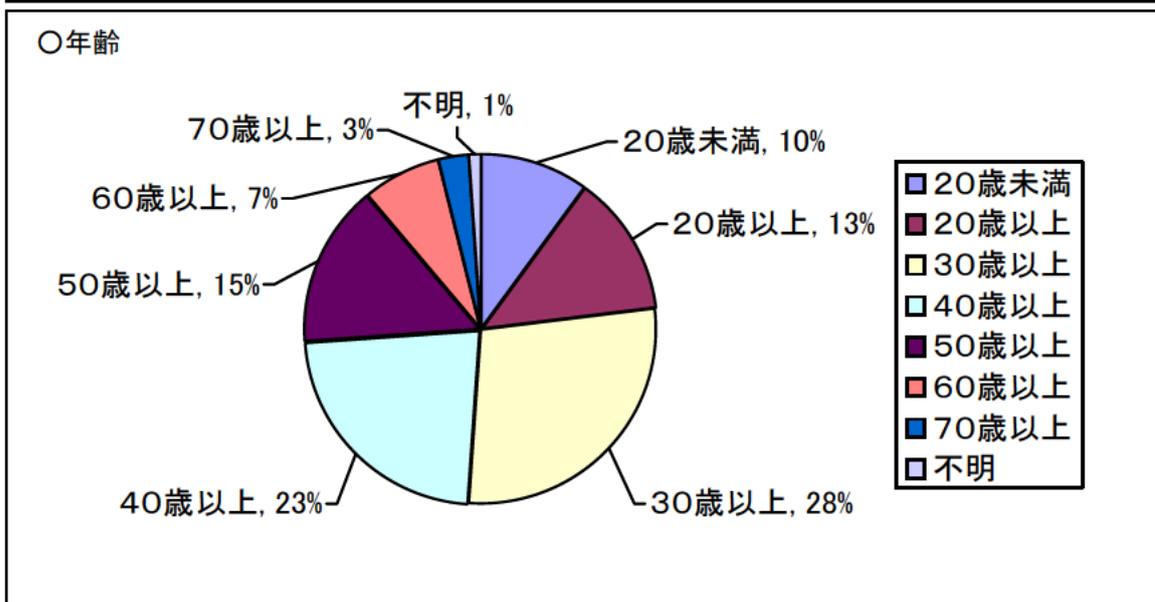
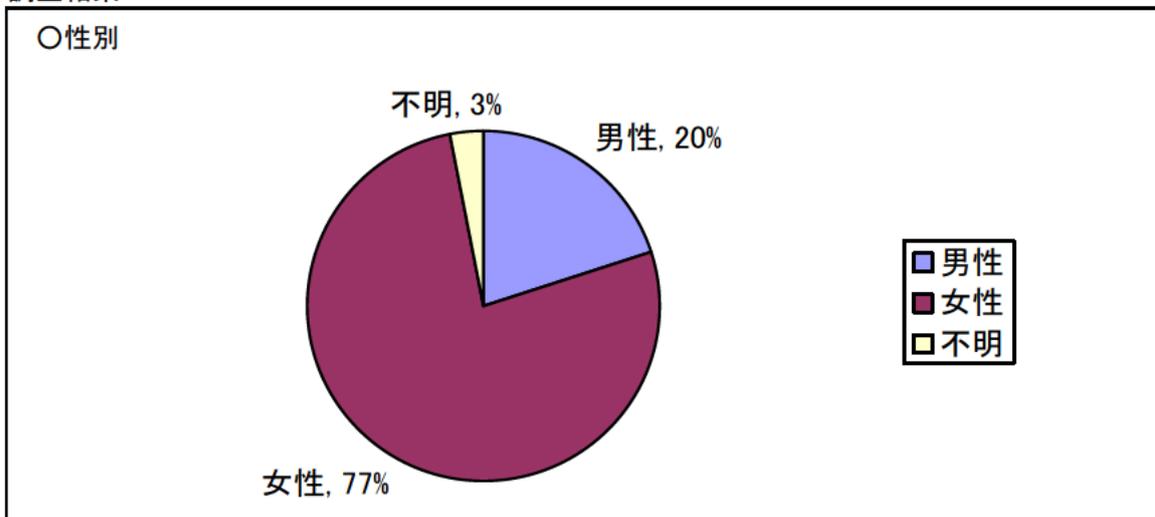
2. 概要

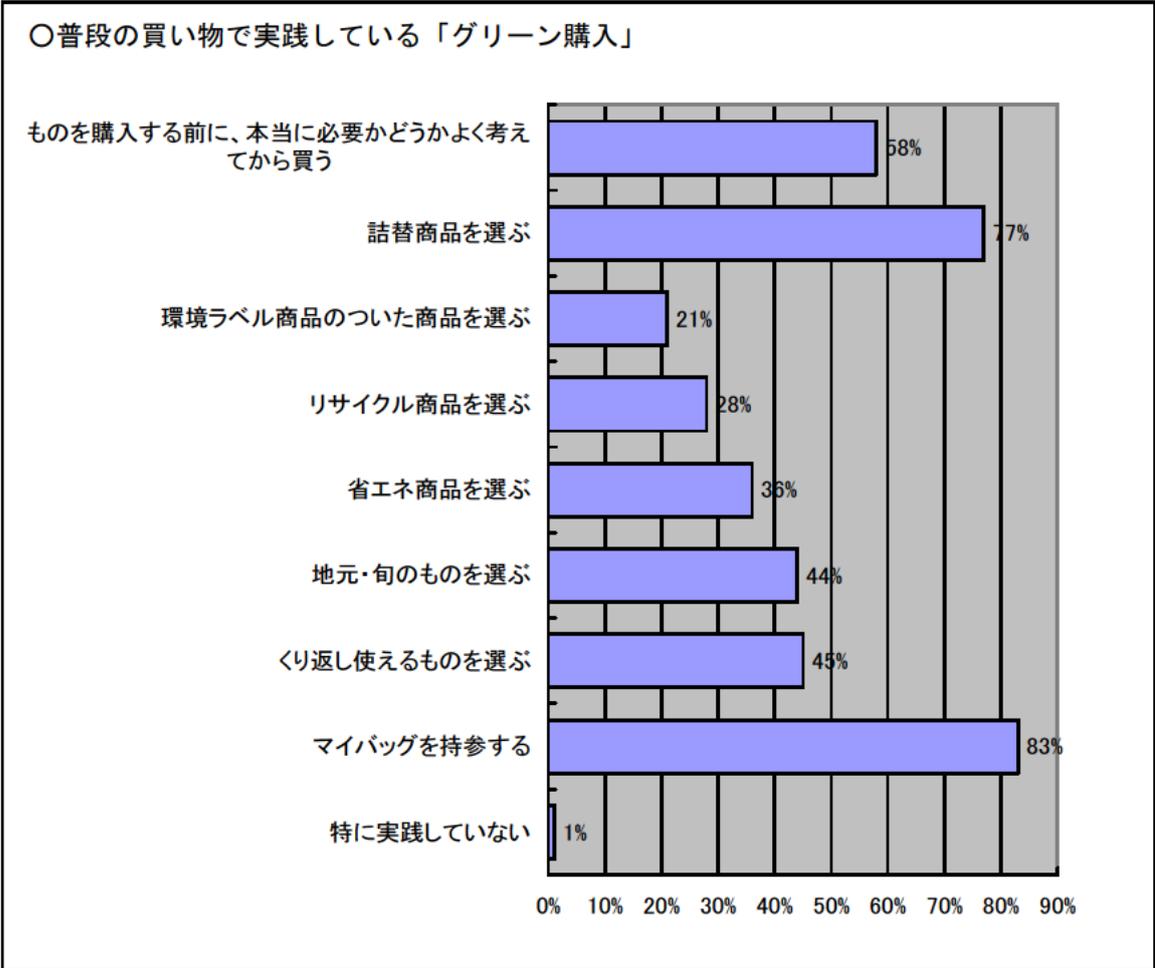
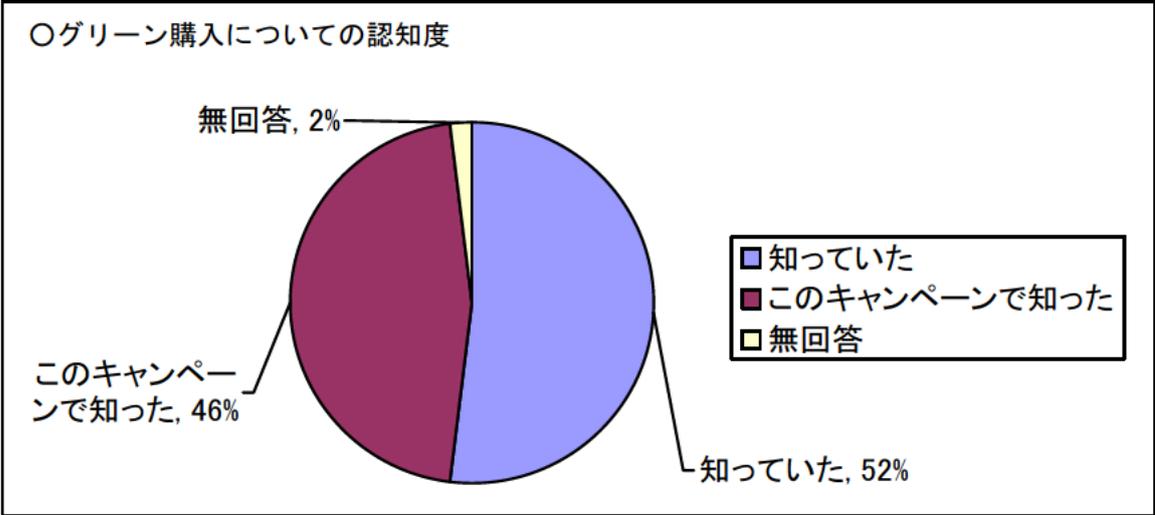
期 間：平成21年1月15日（木）～2月14日（土）

対 象：当該キャンペーン懸賞応募者

標本数：3,761人

3. 調査結果





○グリーン購入の普及啓発

キャンペーン前の認知	グリーン購入取組		認知	実践
知っていた 1,953人	今後も実施	1,841人	—	—
	この機会に実施	92人	—	○
	実施しない	8人	—	×
	未回答	12人	—	×
このキャンペーンで 知った 1,730人	今後も実施	723人	○	—
	この機会に実施	986人	○	○
	実施しない	9人	○	×
	未回答	12人	○	×
未回答 78人	今後も実施	9人	○	—
	この機会に実施	5人	○	○
	実施しない	1人	○	×
	未回答	63人	○	×

※多くの人に「グリーン購入」という考え方や取組について知っていただいた（認知）。

多くの人に「グリーン購入」の取組を始めていただいた（実践）。

「グリーン購入」を今後も実施しないと回答された方は、未回答を除くと全体で18人とごくわずか（0.5%未満）であった。

○「グリーン購入」に関して、メーカーや販売店等への意見や、「グリーン購入」をもっと広めるためのアイデア等

1. 環境ラベル商品について

1	「バイオマスマーク」を知らなかった。これからは注意して見ていきたい。
2	老眼になってきているので、環境ラベルマークを大きく、分かりやすい位置につけてほしい。
3	「バイオマスマーク」の意味が分からない。
4	環境ラベル独特の目立つデザイン商品を開発してほしい。
5	マークが小さすぎて選ぶのが面倒になる。マークを大きくしてほしい。
6	エコマーク等の環境ラベルのついた商品が非常に少ないことに驚いている。メーカーに協力を呼びかけてはどうか。
7	それぞれの環境ラベルマークの意味が分からないので、もっと認知度を上げるべき。
8	エコマーク商品を購入すると、どのように地球にやさしいのか知りたい。
9	環境ラベルが多様多様で分かりづらいので、統一して認知度を高めるとよい。
10	環境ラベルが付いている商品一覧や積極的に取り組んでいる企業をリストにしてくれると分かりやすくてよい。
11	環境ラベルマークを探すのに苦労した。もっと見やすい位置・大きさ・色など工夫があるとよい。
12	再生紙 100%使用の商品なのに、マークがついてないものが多い。ぜひ改善してほしい。
13	再生紙を使っているトイレトペーパーでもマークがあつたりなかつたりする。消費者は戸惑ってしまう。
14	環境ラベル商品を増やしてほしい。

2. メーカーへの意見

1	壊れにくい商品の開発をお願いしたい。
2	環境にやさしい商品を製造して消費者にアピールすることが重要だと思う。
3	詰替え商品が本体商品よりも価格が高いことが多い。詰替え商品の方が安いように価格設定をしてほしい。
4	車を運転しているとポイ捨てのゴミが気になる。商品の袋やペットボトルなど時間がたてば土にかえる素材でつくってほしい。
5	化粧品のびん類等しっかりしているのでリユースできるのではないかな。
6	粉石けんの中に入っている計量スプーンはすべてに入っている必要はない。
7	実際にトウモロコシからパックができる過程を工場見学できるとよい。目で見て覚えたものよりは購入意欲がわくのではないかなと思う。
8	ジュースや牛乳などの飲み物について、専用容器をつかって中身だけ売ればペットボトルや紙パック自体がなくなると思う。
9	省エネ製品は値段が高いので購入しにくい。
10	消費者がいくらエコ買い(グリーン購入)しても、商品を製造・販売する企業の方針が変わらない限り、環境はよくなると思う。

11	消費者にエコを求めるより、物をつくる企業から取組みを変えていただき、自然に地球にやさしい環境にならないだろうか。
12	商品自体の過剰な包装を見直した方がよいと思う。
13	詰替え商品の中には本体に詰替えしにくいものもある。洗剤やシャンプーなど注ぎ口を工夫していただくとよい。
14	詰替え商品がずいぶん増えてきたが、化粧品のびんは使い捨てでもったいないと思う。
15	電化製品は修理するより買い換えた方が安くなる場合があるが、多少の故障であれば気軽になおしてくれるシステムが確立できるとよい。
16	量が少なくてすぐなくなってしまうスティックのりの詰替え商品があるとよい。ケースがゴミになってしまう。

3. 販売店への意見

1	過剰包装が多い。野菜などは古新聞紙やチラシで包んで帰ればよいと思う。
2	過剰包装をやめる取組みをしてくれないと消費者が気をつけて実践しても、グリーン購入が広がっていない。
3	一人ひとりの努力だけではできないことも多い。企業や店などパックやペットボトルを減らす努力をしてほしい。
4	食品トレイ容器は色や柄をつけない方がよい。特に刺身や寿司の容器など。
5	グリーン購入を実践しているが、まだまだ店頭でも見つけにくい。もっと目につく表示があればよいと思う。
6	「地産地消」を心がけている。スーパーも地元の野菜を扱ってほしい。
7	「グリーン購入コーナー」などを設けてもらえると、分かりやすく購入できると思う。
8	一部地域で試験的に行われている、総菜コーナーの食品トレイの繰り返し利用が全域で実施されるとよい。
9	ファーストフード店やスーパーなどではトレイやプラスチック容器が頻繁に使用されている。使い回しのきく物を使用したらゴミが減ると思う。
10	グリーン購入商品を積極的に取り入れた販売姿勢で消費者のニーズを高めていくとよい。
11	最近ではマイバッグが増えてきたが、デパートはまだ過剰包装が気になる。
12	スーパー等で魚や肉のパックを透明のビニール袋に詰め替えて、そのままパックが捨てられていくのが気になる。
13	「グリーン購入」という言葉をスーパーやお店にもっと分かりやすく書いてあるとよい。
14	地元商品の品揃えを多くしてほしい。
15	スーパーなどで北海道や九州など他地域の特産品を紹介しているが、同じように地元の特産品を紹介するコーナーをつくったらどうか。
16	スーパーにエコフェアをやってほしい。
17	せっかくマイバッグを使っても、どの商品でも無駄にビニール袋に入っていたり、ラップで包装してあったりする。売る側がもう少しエコについて考えてほしい。
18	普段から意識しないと多くの人々が実施することは難しいので、販売店等もこういったキャンペーン等に積極的に取り組む(協力)等の活動を増やしてほしい。

4. 当キャンペーンへの意見

1	詰替え品のバーコードを貼るタイプのキャンペーンも行ってほしいと思う。
2	グリーン購入を実践するとポイントが付与され、ポイントがたまると何かの商品と交換できるような仕組みがあるとよい。
3	売場にPOPやポスター掲示など、目立つ工夫をする。
4	スーパー等の店頭で啓発活動を行うとよい。
5	グリーン購入商品を一ヶ所に集めて購入しやすくする。
6	スーパー等で、環境クイズや展示などのイベントを行う。
7	店舗内でキャンペーンをしている旨のアナウンスをするとよい。
8	キャンペーンの回数や期間を増やしたらどうか。
9	「あなたのお買い物をエコチェック」など、とても勉強になった。このようなキャンペーンがこれからもあるとよい。
10	「グリーン購入」という言葉自体が世間であまり知られていないので、もっともっと宣伝するべき。
11	テレビや新聞などでPRする。
12	「グリーン購入キャンペーン」のテーマソングをつくり、店舗などで流しPRする。
13	「ぱっくん」「がまこ」のキャラクターがとてもかわいいので、イベントなどで活用するとよい。
14	「グリーン購入」したお客さんには「ぱっくん」と「がまこ」のイラスト付きの袋を渡すようにしたらどうか。
15	「ぱっくん」と「がまこ」のキャラクターを起用した文具などをつくり販売してはどうか。
16	環境ラベルのマークを新聞などで大きく取り上げてもらうと、多くの方に認知してもらえると思う。
17	幼稚園・小中学校で子どもに対してPRする。
18	芸能人を使ってCMなどでPRする。
19	グリーン購入の利点が曖昧のように感じる。
20	インターネットや携帯電話からも応募できるようにしてほしい。用紙の削減にもなると思う。
21	幼い頃のことを思い出すと普通に行っていたことが多い。年輩の方の知恵が素晴らしいと子供達に印象づければ、新しい省エネ技術とプラスされ大人も動かすのではないか。
22	会社ではなるべくエコマークの付いている文具を購入するように心がけている。企業に向けたキャンペーンもあってもよい。
23	環境に配慮することは身近にできることをPRすることが大切。
24	新聞でキャンペーンのことは知っていたが、意外と応募ハガキがない。商品の隣に置くとか特設会場で商品とハガキを両方置くとかしてほしい。
25	グリーン購入商品のバーコードを貼って応募するようにしたらどうか。
26	グリーン購入が定着するまで、長く続けて実施してほしい。
27	子供たちの夏休みなどを利用し「グリーン購入」の勉強会やイベントを開催し、親子で「環境について考える」機会をつくっていただければ、ぜひ参加したい。
28	このハガキを手に入れるのに苦労した。キャンペーンに参加しやすいように多くの場所にハガキを置いてほしい。
29	商品の文具券を1000円分にして、当選者数を半分にする。
30	対象になる商品及び実施店舗を増やしてほしい。
31	東海三県一市だけでなく、このようなキャンペーンを全国に広げていけるとよい。
32	商品は文具券よりも図書券の方がよい。文具は学校で買ったりするので。

○広報結果

No	媒体の種類	媒体の名称	掲載年月日・放送年月日時間など	自治体
1	テレビ	あいち県政ファイル(中京テレビ)	平成 21 年 1 月 31 日 11:35~11:40	愛知県
2	テレビ	NHK及び東海テレビ 地上デジタル放送・データ放送	平成 21 年 2 月 1 日~2 月 5 日	
3	ラジオ	ZIP-FM AICHI SUNDAY TIPS	平成 21 年 1 月 18 日 7:23~7:26	
4	ホームページ	愛知県ホームページ	平成 20 年 1 月 11 日	
5	情報誌	環境かわら版	1 月号	
6	情報掲示板	愛知県情報管理システム掲示板	平成 21 年 1 月 14 日	
7	庁内放送	愛知県庁庁内放送	平成 21 年 1 月 15 日以降キャンペーン期間中の毎週木曜日 8:50~8:55	
8	県広報紙	ふれあい 暮らしと県政ぎふ	1 月号	岐阜県
9	テレビ	岐阜放送「ぎふ・オンライン」	平成 21 年 1 月 15 日(木) 10:00	
10	テレビ	テレビ愛知「ひだ・みのぎふと」	平成 21 年 1 月 26 日(月) 9:54	
11	テレビ	岐阜放送「ひだ・みのぎふと」	平成 21 年 2 月 1 日(日) 10:05	
12	ラジオ	岐阜エフエム放送ラジオ「GIFU インフォメーション」	平成 21 年 1 月 20 日(火) 8:32	
13	ホームページ	ぎふポータル	平成 20 年 12 月 25 日	
14	Eメール	メールマガジン	平成 21 年 1 月 10 日	
15	ラジオ	東海ラジオ 「こんにちは三重県です」	平成 21 年 1 月 13 日 10:35~10:39	三重県
16	ラジオ	FM三重 「こんにちは三重県です」	平成 21 年 1 月 13 日 14:21~14:25	
17	ホームページ	三重県ホームページ	平成 20 年 12 月 25 日	
18	ホームページ	三重の環境と森林 (三重県環境森林部ホームページ)	平成 20 年 12 月 25 日	
19	市広報紙	広報なごや	1月号	名古屋市
20	ラジオ	CBC ラジオ「名古屋市だより」	平成 21 年 1 月 21 日 11:20~11:24	
21	新聞	伸びる名古屋	平成 21 年 1 月 25 日	

平成20年度
東海三県一市グリーン購入キャンペーン実施報告書

平成 2 1 年 3 月

東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会
愛知県(平成 20 年度事務局)・岐阜県・三重県・名古屋市・
日本チェーンストア協会中部支部・グリーン購入ネットワーク(GPN)

事務担当: 愛知県環境部環境活動推進課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL 052-954-6241
FAX 052-954-6914

古紙パルプを含む再生紙を使用しています。